

## 第5回自動車整備技術の高度化検討会 議事概要

1. 日時：平成24年10月9(火) 13:30～15:05

2. 場所：経済産業省別館 11階 1111号会議室

3. 出席者：

須田委員、古川委員、廣中委員、松井委員、帯刀委員、野口委員、渡辺委員、福内委員  
中嶋委員、高橋委員、杉山委員、森本委員、江坂委員、岩崎委員代理、島委員

4. 議事概要

(1) これまでの経緯と今後の検討事項について

事務局から、これまでの経緯と課題について資料3により、今後の検討事項（案）について資料4により説明があり、検討事項（案）が了承された。今後の検討会は資料4に沿って進めていくこととなった。

主な意見等は次のとおり

- ・ 資料4の課題は重要なものであるため、検討会においては、目標を定めて一定の時期にアウトプットするべき。
- ・ 次回の検討会で、課題に対する方向性の論点等を提示し、アウトプットのイメージ作りをしていく。

(2) 整備事業のIT化、ネットワーク化の現状について

① 福内委員から整備事業のIT化、ネットワーク化の現状について資料5により、中嶋委員から「標準仕様」スキャンツールのネットワーク化の現状と課題について資料6により説明があった。

主な意見等は次のとおり

- ・ 自動車メーカーからのスキャンツール開発情報の提供については、新技術に係る情報等はマスキングして見せない対応も必要ではないかとの意見があった。これに対し、廣中委員より「情報の取扱指針」において、第4条関係の整備要領書に係る情報はディーラーと同じものを提供しているのに対し、第5条の汎用スキャンツール開発用の情報については、「自動車メーカーの正当な利益を害するおそれのある情報等は提供しなくともよい」とされている旨の補足説明があった。
- ・ 高橋委員から、スキャンツールの販売状況を次回の検討会で報告する旨発言があった。

② 杉山委員から一級整備士資格者の現状について資料7により説明があった。

主な意見等は次のとおり

- ・ 杉山委員から、「専門学校の中で入学者数が増加しているものは、就職率が高い等のメリットがあるものと思われる。整備学校の入学者数が減少しているのは、3Kのイメージや学校というよりもメカニックになりたいかどうかということが原因であり、最終的には整備士としての優位性ということになると思う。」との発言があった。
- ・ 廣中委員から、「3Kというイメージは払拭しきれていないかもしれない。メーカー系ディーラーでは、一級自動車整備士を望んでいるという傾向はある。また不足しているという話も聞いている。整備士全体の在り方、また整備士の育成をどうしていくか、これを機に検討していくことが必要かもしれない。その辺りの実態把握についても、検討会の中で一緒に検討していきたい。」との発言があった。

### (3) 今後のスケジュールについて

事務局から資料8に沿って説明を行い、年度内にあと3回程度開催し、その後、報告書を取りまとめることでの了承された。